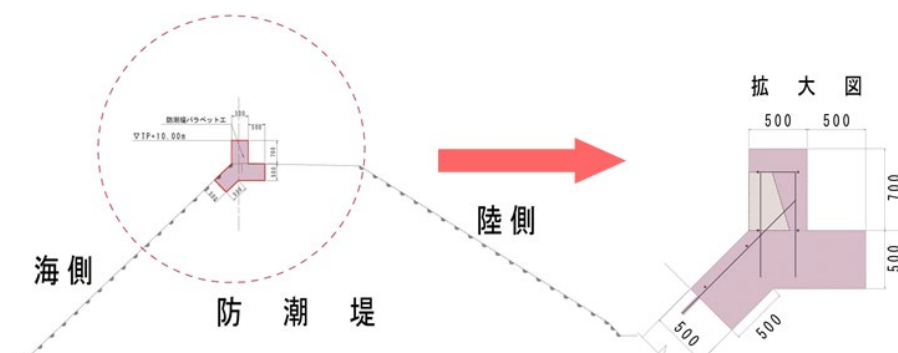


田老防潮堤が本格的に工事を開始しました！

河川課

東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた岩手県宮古市田老地区の防潮堤（総延長2433メートル）の本格的な復旧工事が5月14日から本格的に始まりました。今回は、X字形の2重の防潮堤のうち、地盤沈下した陸側の第2線堤を平均70センチかさ上げします。



安全祈願祭

田老地区海岸災害復旧工事の安全祈願祭（主催・三好建設株式会社）が平成25年3月8日、宮古市田老地区の現地会場で開かれました。同工事では田老地区の海岸防潮堤（二線堤）について、沈下した防潮堤を被災前の高さ（T.P.+10メートル）までかさ上げします。安全祈願祭では関係代表者がくわ入れなどの神事を執り行い、無事故での工事完成を祈願しました。当日は、工事を担当する三好建設株式会社の三好健志代表取締役や同社現場代理人のほか、県沿岸広域振興局の加藤郁郎宮古土木センター所長、宮古市、同市消防団などの関係代表者ら約20人が出席しました。

三好社長や加藤所長らがくわ入れや玉串奉てんなどの神事をを行い、無事故での工事完成を祈願。三好社長は「この大地に染み込んでいる涙と無念を忘れることなく、防災・減災施設を後世に残さなければならない。一人ひとりが使命感を胸に無事故・無災害で施工したい」と述べました。